

Cariot Ver2.27 リリースノート

- (1) 走行データ：速度グラフの拡大
- (2) 走行データ：速度グラフ上でのマウス操作の挙動を改善
- (3) 走行データ：停車位置の番号表示を改善
- (4) エリア：拠点の表示／非表示の設定を追加
- (5) エリア：すべての拠点が地図上に表示されるように自動調整する設定を追加
- (6) エリア：地図の表示領域を拡大

- (補足) ヒートマップ機能の廃止

(1) 走行データ：走行データ：速度グラフの拡大 <1/2>

■ 課題 (要望)

- 走行データの速度グラフにて、速度の推移を細かく確認したい。

■ 改善点 (対応内容)

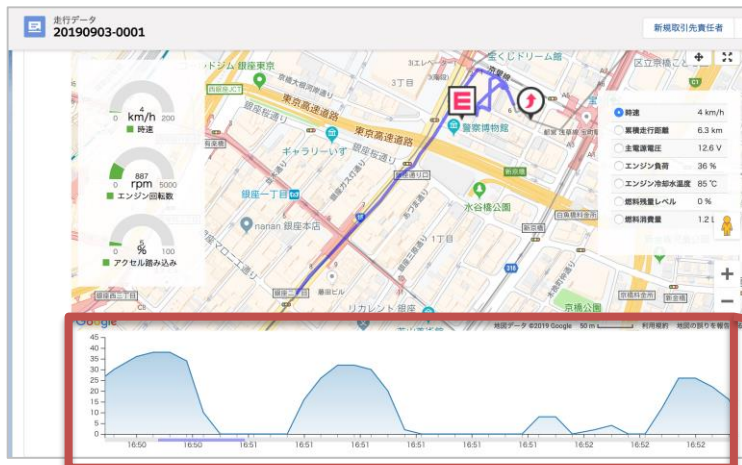
- 速度グラフにて、ドラッグ操作で指定した範囲を拡大表示することができるようになりました。
- これにより速度の推移をより細かく確認することができるようになります。

速度グラフ上の範囲をドラッグすると、その範囲が拡大されます

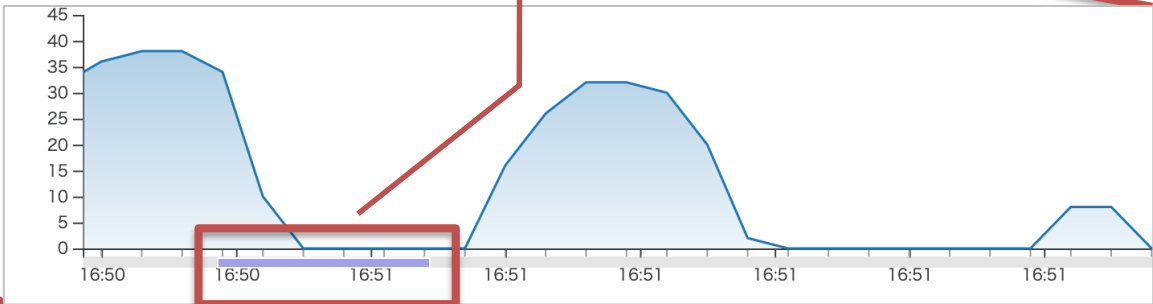
範囲を拡大した後に、グラフ上をクリックすると、初期状態に縮小されます

* 次のページに関連機能を記載しております

(1) 走行データ：走行データ：速度グラフの拡大 <2/2>



速度グラフを拡大した状態で、紫色のスライドバーを左右にドラッグすることで、表示を拡大したままの状態、表示範囲を動かすことができます



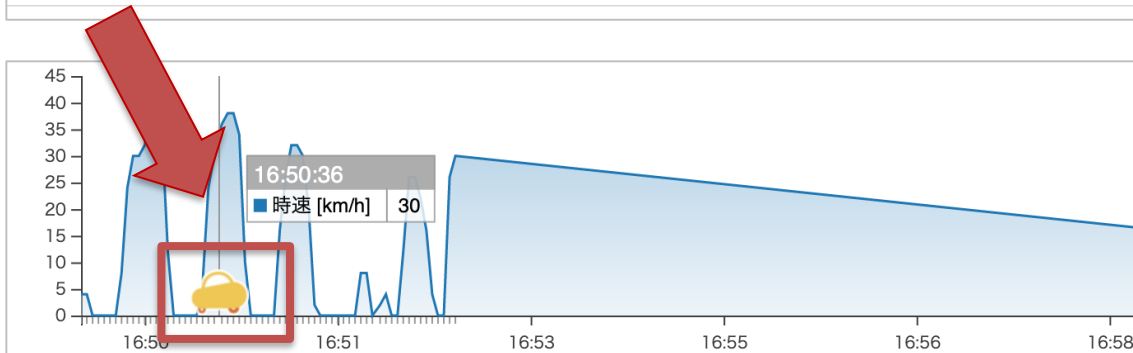
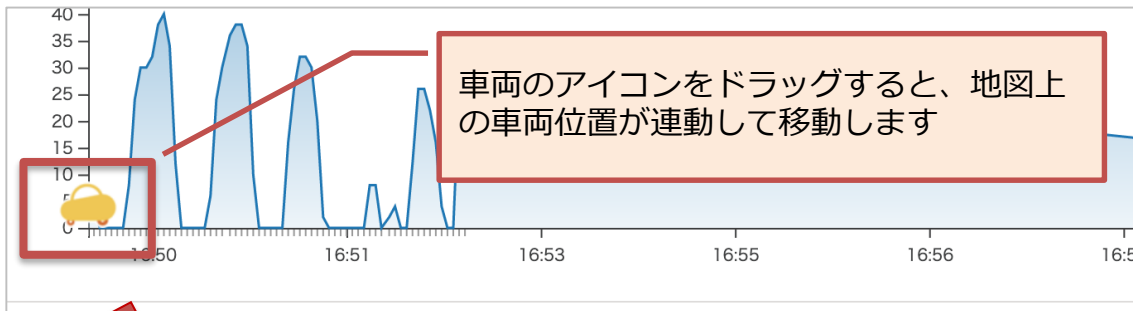
(2) 走行データ：速度グラフ上でのマウス操作の挙動を改善

■ 課題 (要望)

- 速度グラフ上でマウスを動かしたときに、地図上の車両位置を示すカーソルも連動して動いてしまう。

■ 改善点 (対応内容)

- 速度グラフ上で車両のアイコンをドラッグして左右に動かすと、地図上の車両位置を示すカーソルが連動して動くように変更しました。
- これにより意図せず速度グラフ上でマウスを動かしても、地図上の車両位置を示すカーソルが動くことがなくなります。



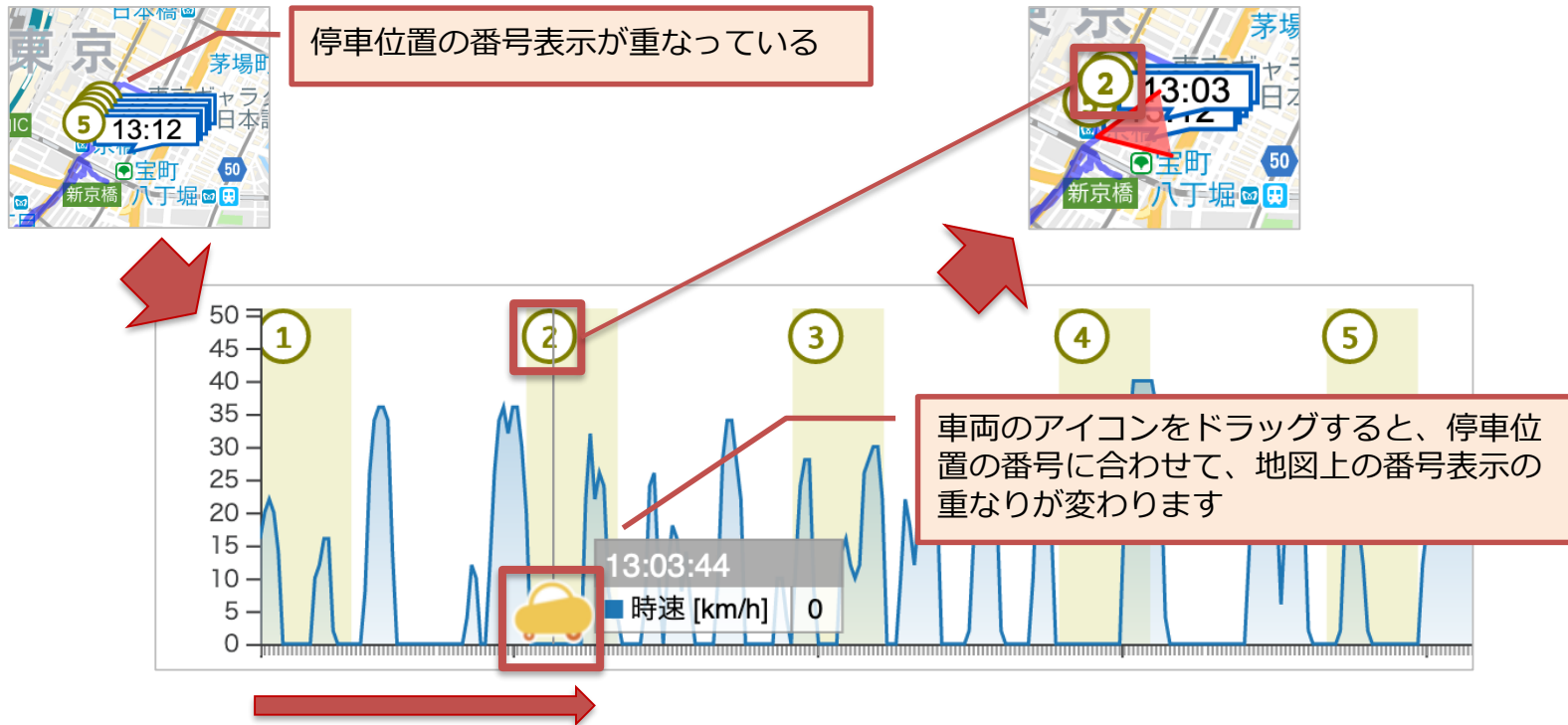
(3) 走行データ：停車位置の番号表示を改善

■ 課題 (要望)

- 同じ場所に、複数回 停車した場合に、地図上の番号が重なって表示されて見えずらい。

■ 改善点 (対応内容)

- 速度グラフ上の番号に連動して、地図上の番号の重なりが変わるように変更しました。



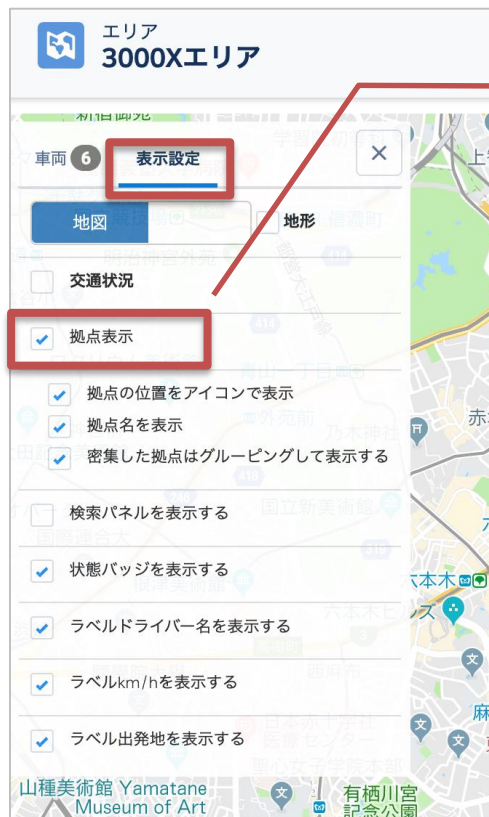
(4) エリア : 拠点の表示／非表示の設定を追加

■ 課題 (要望)

- 登録した拠点を表示と非表示で切り替えたい。

■ 改善点 (対応内容)

- エリア画面で、拠点を表示／非表示に切り替える設定を追加しました。



[表示設定] をクリックして、
[拠点表示] のチェックをオフに
することで、エリア画面での拠
点を非表示に切り替えることが
できます

チェックオン(拠点を表示)



チェックオフ(拠点を非表示)



(5) エリア：すべての拠点が地図上に表示されるように自動調整する設定を追加 <1/2>

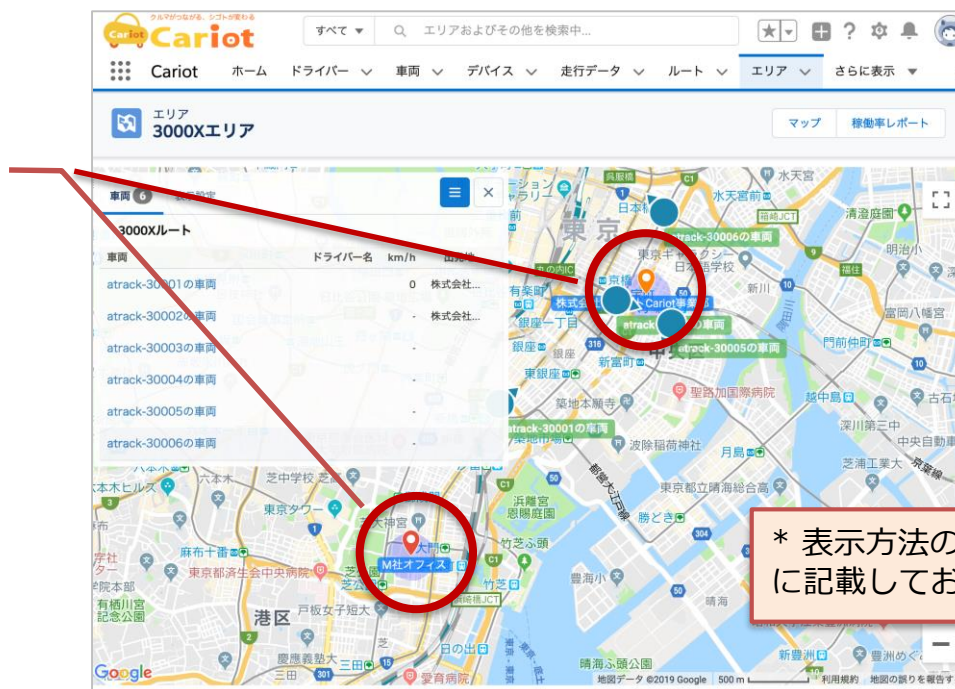
■ 課題 (要望)

- 登録した拠点が地図上にすべて表示されないことがある。
- すべての拠点が表示されるように表示範囲を自動で調整してもらいたい。

■ 改善点 (対応内容)

- エリア画面の初期表示で、すべての拠点が地図上に表示される設定を追加しました。
- これにより中心地点や表示倍率を手動で調整することなく、すべての拠点が地図上に表示されます。

すべての拠点が地図の表示範囲に含まれるように初期表示を自動調整します



* 表示方法の設定は次のページに記載しております

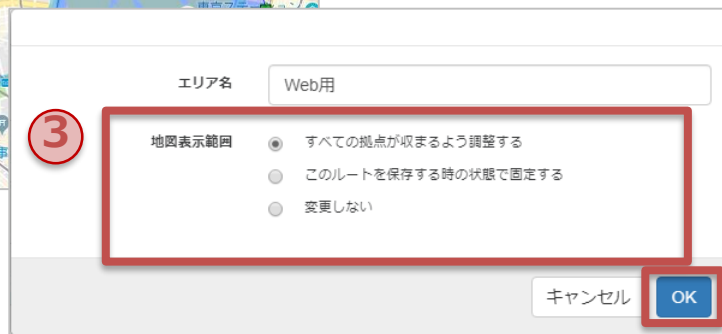
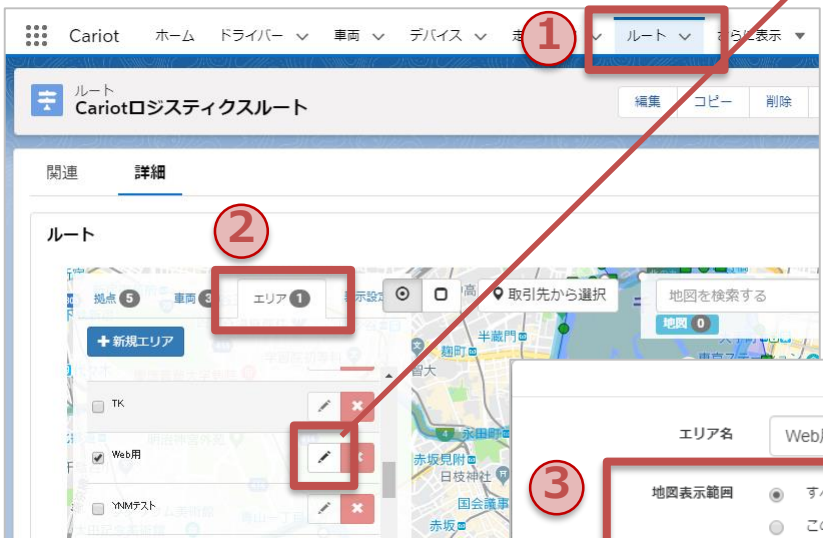
(5) エリア：すべての拠点が地図上に表示されるように自動調整する設定を追加 <2/2>

エリアに表示する拠点を登録しているルートにて、「すべての拠点が収まるよう調整する」を選択します。

- ① [ルート] メニューからルートを開きます
- ② [エリア] タブをクリックして、対象のエリアの編集ボタン (ペンのアイコン) をクリックします

- ③ [地図表示範囲] セクションにて、拠点の表示方法を設定して [OK] ボタンをクリックします
 - ・「すべての拠点が収まるよう調整する」
↳ すべての拠点が表示されるように、初期表示の範囲を自動調整したい場合に選択します
 - ・「このルートを保存する時の状態で固定する」
↳ ルート画面の地図表示範囲と同じように、エリア画面を表示したい場合に選択します
 - ・「変更しない」
↳ 中心地点や表示倍率を手動設定しており、その設定を維持したい場合に選択します

- ④ [保存] ボタンをクリックします



(6) エリア : 地図の表示領域を拡大 <1/7>

■ 課題 (要望)

- エリア画面の地図の表示領域を大きくしたい。

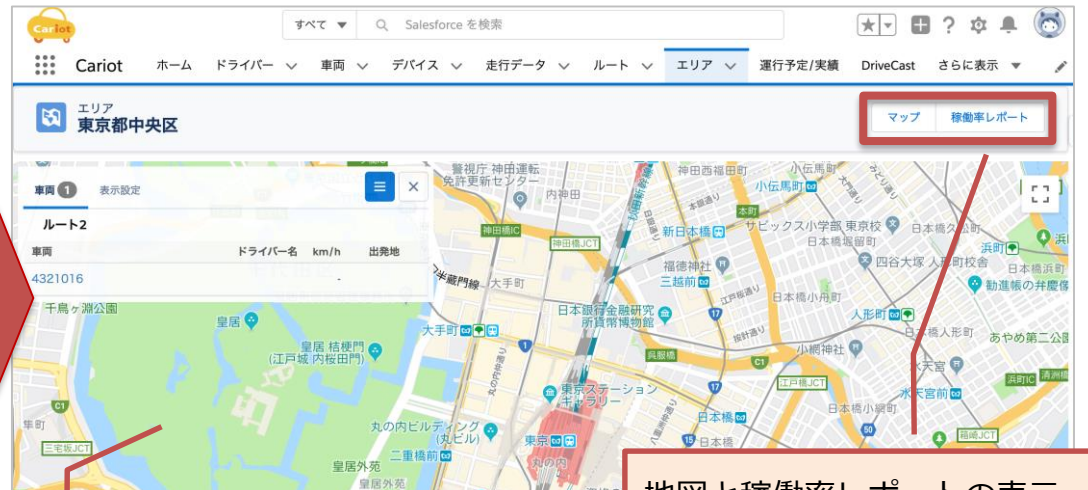
■ 改善点 (対応内容)

- エリア画面の余白を減らして、地図と稼働率レポートが大きく表示されるように画面レイアウトを改善しました。

変更前



変更後



地図が大きく表示されるようにレイアウトを改善

地図と稼働率レポートの表示切り替えはボタンもしくは画面の縦スクロールで切り替えることができます

(6) エリア : 地図の表示領域を拡大 <2/7>

台数	表示期間	最大同時稼働台数	平均稼働台数	合計利用時間
1台	2019/09/10	0台 (0.0%)	0.0台 (0.0%)	0.0時間

車両名 !!	稼働日数 !!	稼働率 !!	利用時間 !!	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
4321016	0日	0.0%																									

稼働率レポートも表が大きく表示されるようにレイアウトを改善

表示テーマ Classic でお利用のお客様へ

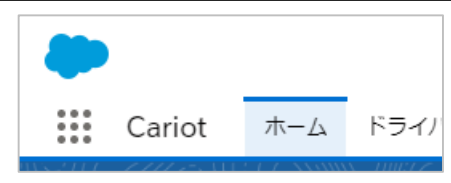
地図の表示領域を拡大するために、次のページにご案内する操作を行ってください。

表示テーマ LEX でお利用のお客様は、操作は不要となります。

Classic ユーザの場合
Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。



LEX ユーザの場合
Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。



(6) エリア : 地図の表示領域を拡大 <3/7>

操作手順 : Classic でご利用のお客様のみの操作となります。

[エリア] オブジェクトの [エリアレイアウト] から、[リアルタイムモニタ] と [稼働率レポート] のセクションを削除します。



①
画面 右上の [設定] をクリックします。



②
クイック検索ボックスに「オブジェクト」と入力して検索します。

③
[作成] セクションの配下にある [オブジェクト] をクリックします。

操作手順 : Classic でご利用のお客様のみの操作となります。



④ [エリア] をクリックします。



⑤ [ページレイアウト] セクションにて、[エリアレイアウト] の [編集] をクリックします。

操作手順 : Classic でご利用のお客様のみの操作となります。

保存 適用 指定した形式でプレビュー... キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

クイック検索 項目名

項目	作成者
ボタン	
クイックアクション	
モバイルおよび Lightning のアクション	
拡張ルックアップ	

Experience およびモバイルアプリケーションページのカスタマイズされたアクションリストを設定できます。[Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] セクションでアクションをカスタマイズし、レイアウトを保存した場合、クリックして書き直すと、このセクションでそのセットのアクションがデフォルトにより継承されます。

エリアの詳細

標準ボタン
編集 削除 コピー 所有者の変更 レコードタイプを変更 印刷用に表示 共有

カスタムボタン
ヒートマップ

情報 (編集ページにのみヘッダーを表示)

エリア名	サンプルテキスト	所有者	サンプルテキスト
リアルタイムモニタ	サンプルテキスト		
中心地点	サンプルテキスト		
表示倍率	574		

⑥
[リアルタイムモニタ] セクションの右端にある [セクションを削除] ボタンをクリックします。

操作手順 : Classic でご利用のお客様のみの操作となります。

保存 適用 指定した形式でプレビュー... キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

項目

ボタン	作成者
クイックアクション	所有者
モバイルおよび Lightning のアクション	中心地点
拡張ルックアップ	表示倍率

Experience およびモバイルアプリケーションページのカスタマイズされたアクションリストを設定できます。[Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] セクションでアクションをカスタマイズし、レイアウトを保存した場合、クリックして上書きすると、このセクションでそのセットのアクションがデフォルトにより継承されます。

エリアの詳細

標準ボタン
編集 削除 コピー 所有者の変更 レコードタイプを変更 印刷用に表示 共有

カスタムボタン
ヒートマップ

情報 (編集ページにのみヘッダーを表示)

★ エリア名	サンプルテキスト	所有者	サンプルテキスト
中心地点	サンプルテキスト		
表示倍率	574		

稼働率レポート

⑦ 同様に [稼働率レポート] セクションの右端にある [セクションを削除] ボタンをクリックします。

操作手順 : Classic でご利用のお客様のみの操作となります。

⑧
[保存] ボタンをクリックします。
操作は以上となります。

Experience およびモバイルアプリケーションページのカスタマイズされたアクションリストを設定できます。[Salesforce Classic パブリッシャーのクイックアクション] セクションでアクションをカスタマイズし、レイアウトを保存した場合、クリックして上書きすると、このセクションでそのセットのアクションがデフォルトにより継承されます。

エリアの詳細

標準ボタン
編集 削除 コピー 所有者の変更 レコードタイプを変更 印刷用に表示 共有

カスタムボタン
ヒートマップ

情報 (編集ページにのみヘッダーを表示)

★ ● エリア名	サンプルテキスト	所有者	サンプルテキスト
中心地点	サンプルテキスト		
表示倍率	574		

システム情報 (編集ページにのみヘッダーを表示)

🔒 作成者	サンプルテキスト	🔒 最終更新者	サンプルテキスト
-------	----------	---------	----------

カスタムリンク (編集ページにのみヘッダーを表示)

Cariot Ver2.21 および Ver2.21 以前のバージョンをご利用の場合は、初めに Cariot Ver2.21.1 にアップグレードしてから、その後に Cariot Ver2.27 にアップグレードを行ってください。

<https://cariot.atlassian.net/wiki/spaces/CAR/pages/1867800/20>

ステップ 1. : Cariot Ver2.21.1 にアップグレード

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t0K000001VJDI>

ステップ 2. : Cariot 最新バージョンにアップグレード

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t0K000001RtFA>



上記の URL をクリックするとインストールが始まります。

1. [すべてのユーザのインストール] をクリックします。
2. [アップグレード] ボタンをクリックします。

この操作をステップ 1. とステップ 2. で行います。

Cariot Ver2.27 のインストール方法

<2/2> : Ver.2.22 以降をご利用のお客様

以下のページからインストールを行ってください。

<https://login.salesforce.com/package/installPackage.apexp?p0=04t0K000001RtFA>

注意事項

アップグレード CariotCore
コメント作成者 Cariotパッケージ開発組織

現在の Cariot バージョン

これからインストールしようとしている Cariot バージョン

以前のバージョンがインストールされています。既存のデータを保持したままアップグレードできます。
インストール済み: 2.14 (2.14) 新しいバージョン: 2.14 (2.14)

1

2

アップグレード キャンセル

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
CariotCore	Cariotパッケージ開発組織	2.14	2.14

その他の詳細 コンポーネントを表示

1. [すべてのユーザのインストール] をクリックします。

2. [アップグレード] ボタンをクリックします。

Cariot Ver2.21 および Ver2.21 以前のバージョンをご利用の場合は、初めに Cariot Ver2.21.1 にアップグレードしてから、その後に Cariot Ver2.27 にアップグレードを行ってください。
<https://cariot.atlassian.net/wiki/spaces/CAR/pages/1867800/2>

以下のようなメッセージが表示されて Cariot のアップグレードが失敗する場合は、[「Cariot アップグレードが失敗する場合の対応方法」](#)の操作をお試しいただき、デバイス オブジェクトの [活動を許可] チェック ボックスをオンにした後に、再度 Cariot のアップグレードを実行してください。

パッケージ "CariotCore 2.15" のインストール要求は正常に処理されませんでした。salesforce.com 組織内のデータまたは設定情報への影響はありません。

インストールが何度も失敗する場合、通常の方法で Salesforce CRM カスタマーサポートにお問い合わせいただき、次の情報をお知らせください。

組織: Cariotフレクト実車セールス環境 (00D280000014TC0)

ユーザ: セールスLEX フレクト (0050I000008A0Ut)

パッケージ: CariotCore (04t0K000001AASR)

エラー番号: 742989889-765085 (658179458)

問題:

1. (LightningDeviceRecordPage) Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot__Device__c] LightningDeviceRecordPage: Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot__Device__c]

「Cariot_アップグレードが失敗する場合の対応方法」

https://cariot.atlassian.net/wiki/spaces/CWMLEX/pages/290652377/Cariot?preview=/290652377/617971713/Cariot_%E3%82%A2%E3%83%83%E3%83%97%E3%82%B0%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%8C%E5%A4%B1%E6%95%97%E3%81%99%E3%82%8B%E5%A0%B4%E5%90%88%E3%81%AE%E5%AF%BE%E5%BF%9C%E6%96%B9%E6%B3%95.pdf

2019/8/30 からヒートマップ機能を廃止しております。この廃止に伴いまして、車両のレイアウトなどからヒートマップに関連するコンポーネントを削除しております。

今後はヒートマップの代替として、駐車イベントマップをご利用ください。駐車イベントの詳細につきましては、以下オンライン マニュアル「補足資料16: 車両が駐車している場所を特定」の操作手順 2. をご参照ください。

LEX ユーザの場合 Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。		https://cariot.atlassian.net/wiki/spaces/CWM/LEX/pages/621314049/16
Classic ユーザの場合 Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。		https://cariot.atlassian.net/wiki/spaces/CAR/pages/621051918/16

< 駐車イベントマップ >



緑マル：
1 件の駐車イベントが発生

数値付き：
複数件の駐車イベントが発生
クリックすると地図がズームされて、発生場所の詳細を確認できます。

手動設定作業のお願い

ヒートマップ機能の廃止に伴い、Cariot 画面からヒートマップ機能を表示しない設定に変更することをお勧めします。

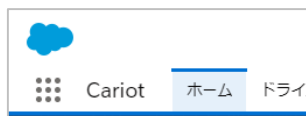
設定を変更しない場合でも、2019/08/30 以降、ヒートマップ機能の画面は表示されますが、データが表示されない状態となります。



2019/08/30 以降は、地図は表示されますが、ヒートマップのデータが表示されない状態となります。

LEX ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 22 ページから 26 ページをご確認ください。

Classic ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 27 ページから 31 ページをご確認ください。

手動設定手順

< 表示テーマ Lightning Experience (LEX) でご利用のお客様 >

- [車両] オブジェクトの検索レイアウトのリストビューから、[ヒートマップ] ボタンを取り除きます。



①
画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



②
画面 上部の [オブジェクト マネージャ] をクリックします。

手動設定手順

< 表示テーマ Lightning Experience (LEX) でご利用のお客様 >

③
クイック検索ボックスに「車両」と入力して検索します。

表示ラベル	API 参照名	説明	最終更新	リリース済み	カスタム
ドライバーと車両とデバイス	DriverVehicleDevice__c		2017/05/23	✓	✓
車両	Vehicle__c		2019/01/21	✓	✓
車両ごと走行データ月次集計	TripAggregatePerVehicleMonth__c		2017/11/08	✓	✓
車両ごと走行データ集計	TripAggregatePerVehicle__c		2017/11/08	✓	✓

④
[車両] をクリックします。

手動設定手順

< 表示テーマ Lightning Experience (LEX) でご利用のお客様 >



⑤
[検索レイアウト] をクリックします。

手動設定手順

< 表示テーマ Lightning Experience (LEX) でご利用のお客様 >

設定 > オブジェクトマネージャ
車両

検索レイアウト
6件の項目 (レイアウト順)

検索: クイック検索

レイアウト	表示される列	表示されるボタン
タブ	車両名, 車両番号, ドライバー, 車両管理エリア, 保管場所, 現在のルート	N/A
リストビュー	N/A	新規, Quip で開く, 引き受ける, 所有者の変更, 所有者の変更, リアルタイムモニタ, DriveCast, ヒートマップ
ルックアップダイアログ	車両名	N/A
編集		
ルックアップ電話ダイアログ	車両名	N/A
検索条件項目	N/A	N/A
検索結果	車両名, 車両番号, ドライバー, 車両管理エリア, 保管場所, 現在のルート	N/A

⑥

[リストビュー] の右端の [▼] をクリックし、
[編集] をクリックします。

手動設定手順

< 表示テーマ Lightning Experience (LEX) でご利用のお客様 >

新規 [New]
Quip で開く [OpenListInQuip]
引き受ける [Accept]
所有者の変更 [ChangeOwner]
所有者の変更 [MassChangeOwner]

カスタムボタン

利用可能なボタン

選択したボタン

リアルタイムモニタ
Heatmap
DriveCast

追加
削除

上へ
下へ

Lightning Experience でのリストビューアクション

新規クイックアクション

保存 キャンセル

⑦
[ヒートマップ] をクリックします。

⑧
[◀] をクリックして削除します。

⑨
[保存] ボタンをクリックします。
操作は以上となります。

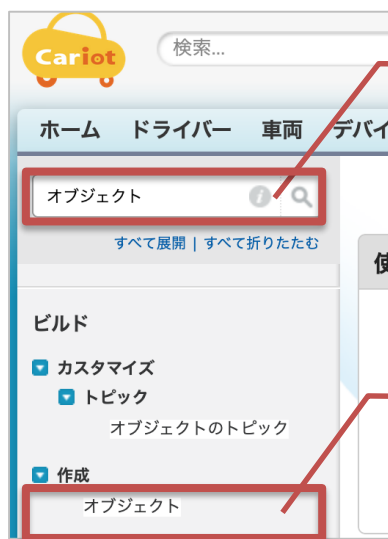
手動設定手順

< 表示テーマ Classic でご利用のお客様 >

- [車両] オブジェクトの検索レイアウトのリストビューから、[ヒートマップ] ボタンを取り除きます。
- [車両] オブジェクトの車両ページレイアウトから、[ヒートマップ] セクションを取り除きます。



①
ヘッダのアイコンから、「設定」を選択



②
クイック検索ボックスに「オブジェクト」と入力して検索します。

③
[作成] セクションの配下にある [オブジェクト] をクリックします。

手動設定手順

< 表示テーマ Classic でご利用のお客様 >

Lightning Experience 移行アシスタント
より生産性の高い新しい Salesforce に移行します。
使用を開始する

Salesforce モバイルクイックスタート

ホーム

管理

- ユーザの管理
- アプリケーションを管理する
- テリトリーの管理
- 組織プロフィール
- データ分類
- セキュリティのコントロール
- ドメイン管理
- コミュニケーションテンプレート
- トランスレーションワークベンチ
- データの管理
- モバイル管理
- デスクトップ管理
- Outlook インテグレーションおよび同期
- Gmail インテグレーション および同期
- メール管理
- Google Apps
- Data.com 管理

いアプリケーション機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム使用して、カスタムオブジェクトデータにアクセスすることも

アクション	表示ラベル
編集 削除	エリア
編集 削除	エリアルート関連
編集 削除	スケジュール
編集 削除	デバイス
編集 削除	ドライバー
編集 削除	ドライバーごと走行データ月次集計
編集 削除	ドライバーごと走行データ集計
編集 削除	ドライバーと車両とデバイス
編集 削除	メール
編集 削除	ルート
編集 削除	拠点
編集 削除	日常点検
編集 削除	点検項目設定
編集 削除	点検項目設定カテゴリ
編集 削除	稼働可能時間設定
編集 削除	走行データ
編集 削除	車両
編集 削除	車両ごと走行データ月次集計

④ 一覧から [車両] をクリックします。

手動設定手順

< 表示テーマ Classic でご利用のお客様 >

検索レイアウト			
アクション	レイアウト	表示される列	表示されるボタン
編集	検索結果	車両名, 車両番号, ドライバー, 車両管理エリア, 保管場所, 現在のルート	
編集	ルックアップダイアログ	車両名	N/A
編集	ルックアップ電話ダイアログ	車両名	N/A
編集	車両タブ	車両名, 車両番号, ドライバー, 車両管理エリア, 保管場所, 現在のルート	N/A
編集	車両 リストビュー	N/A	新規, Quip で開く, 引きた, DriveCast, ヒートマ
編集	検索条件項目		N/A

ボタン、リンク、およびアクション 新規アクション 新規ボタンまたはリンク

⑤ [検索レイアウト] セクションにて、[車両 リストビュー] の [編集] をクリックします。

手動設定手順

< 表示テーマ Classic でご利用のお客様 >

車両 リストビュー

車両リストビューのボタンをカスタマイズします。

- 標準のボタンを削除するには、標準のボタン名の横にあるチェックボックスをオフにします。
- カスタムボタンを追加するには、ボタンを選択し、[追加] をクリックします。

標準ボタン

- 新規 [New]
- Quip で開く [OpenListInQuip]
- 引き受ける [Accept]
- 所有者の変更 [ChangeOwner]
- 所有者の変更 [MassChangeOwner]

カスタムボタン

利用可能なボタン

—なし—

選択したボタン

ヒートマップ

追加

削除

DriveCast

上へ

下へ

⑥ [ヒートマップ] をクリックします。

⑦ [◀] をクリックして削除します。

⑧ [保存] ボタンをクリックします。

Lightning Experience でのリストビューアクション

新規クイックアクション

保存 キャンセル

手動設定手順

< 表示テーマ Classic でご利用のお客様 >

ページレイアウト		
アクション	ページレイアウト名	作成者
編集 削除	車両モバイルレイアウト	dev06, 2017/08/15 15:55
編集 削除	車両レイアウト	dev06, 2017/05/23 11:11
編集 削除	車両レイアウトLEX	dev06, 2017/12/13 19:47

⑨
[ページレイアウト] セクションにて、
[車両レイアウト] の [編集] をクリックします。

保存

項目

- ボタン
- クイックアクション
- モバイルおよび Lightning のアクション
- 拡張ルックアップ

クイック検索 項目名 *				
セクション	アイコン色	スケジュール4	ドライバー	リース会社
空白スペース	スケジュール1	スケジュール5	メーカー	リース先
アイコンサイズ	スケジュール2	スケジュール6	メーカー ※廃止	リース先担
アイコン種別	スケジュール3	スタットレスタイヤ	リース会社電話番号	リース年月

ヒートマップ

⑩
[ヒートマップ] セクションの右端にある
[セクションを削除] ボタンをクリックします。

⑪
[保存] ボタンをクリックします。
操作は以上となります。

セクションを削除